

2018年10月1日

障がい者向けの新たな職場を本社敷地内に新設

～ 海外向け輸出商品などを対象に10月1日(月)から業務開始 ～

江崎グリコ株式会社では、障がいを持つ方がその障がいの種類に関わらず活躍できる職場づくりを目指し、障がい者向けの新たな職場を開設し、10月1日(月)から業務をスタートさせます。当社では、今まで推進してきた障がい者雇用の枠組みに留まらず、働き手と企業が共に成長できる職場環境づくりを進めます。

■ “障がい者の成長”が“企業の成長”につながる仕組みづくり

当社では、持続的な企業発展のために、人財活用や人財育成で様々な施策を進めており、同時に、誰もが働きやすい職場環境の整備に力を入れています。その一つとして推進を図るのが、障がいを持つ方が活躍できる職場環境づくりです。当社では障がいを持つ方の雇用を従来より進めており、障がいのある多くの方が様々な場で活躍しています。これからは障がい者雇用の社会的責任の側面に留まらず、障がい者が働き甲斐を実感し成長しながら、それが企業の成長に直結する仕組みの実現を目指します。その一環として展開するのが、今回の障がい者向けの職場新設です。

■ ハード面とソフト面から障がい者の働きやすい職場環境を整備

障がい者向けの職場は、当社の本社敷地内(大阪府大阪市西淀川区)にある建物を一部改修し新設します。業務は海外向け輸出商品のラベル貼りを中心に行い、従来、外部委託してきた作業の内製化を図ります。業務を行う職場は、障がいのある人の働きやすさを重視し、ソフト面とハード面の両面から整備を行います。ソフト面では、新たな組織を立ち上げ、「働く人が仕事を通じてやりがいを感じる／必要とされていることを実感できる」をコンセプトに体制作りを行っています。そのために同組織の工場管理責任者や社員スタッフは、社内公募を実施し、職場の理念である「障がい者との共生」に共感するメンバーで構成しています。新拠点での業務スタートに伴い、知的障がいや精神障がいを持つ社員を新たに5名採用しました。互いに学びあうことで組織としての生産性と働き甲斐を高めながら、今後は採用数を増やし、更なる業務拡大を図っていきます。2019年度には15名の採用を予定しています。

一方のハード面では、障がいの種類に関わらず働きやすい空間を目指し、作業場における工夫だけでなく、休憩時のスペース(個室化や照明等)にも配慮を行っています。今後は、コミュニケーションシートの導入など障がいをハンディとさせない職務の開発や、社内外の専用相談窓口設置など長期雇用を支援する社内体制と仕組みづくりで更なる組織強化を図ります。

Glico グループでは、障がいを持つ方の雇用促進及び職場環境整備など働きやすい環境づくりの取り組みに引き続き注力してまいります。